丽日本国特許庁(JP)

回特許出顧公開

砂公開特許公報(A)

昭63 - 195754

@Int Cl.4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和63年(1988)8月12日

G 06 F 12/14 G 06 K 17/00

320

F-7737-5B U-6711-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

公発明の名称

包田

端末器における外部メモリカードの転用規制方式

②特 顧 昭62-27006

会出 頗 昭62(1987) 2月6日

切発明者 甲斐

信

奈良県奈良市帝塚山南2丁目13-10

切発 明 者 保井

颶

保 井 剛 太 郎 三ツ星ベルト株式会社

兵庫県西宮市北名次町15番22 兵庫県神戸市長田区浜添通4丁目1番21号

列 組 音

1. 祭明の名称

端末器における外部メモリカードの転用規制 方式

2. 特許請求の範囲

1. 情報センターによって割り付けられた所定の 識別番号を各端末器の不揮発性メモリに書き込む と共に、端末器で使用される外部メモリカードに 該端末器に登録された識別番号を書き込んでなり、 該端末器と外部メモリカードの所定の識別番号が 合致した場合のみ外部メモリカードにメモリされ た処理情報を再生実行及び追加配録を可能にして なることを特徴とする端末器における外部メモリカードの転用規制方式。

8. 発明の詳細な説明

(産築上の利用分野)

本発明は蝦末器における外部メモリカードの転 用規制方式に係り、詳しくは情報センタのファイ ルに書積され、嶋末からのリクウェストに応じて 編末観へ伝送され、外部メモリカードにメモリされた額像情報を他の鰡末器では再生出来ないようにしてなる端末器における外部メモリカードの転用規制方式に関する。

(従来技術)

今日、電話回線と家庭、オフィスのテレビ受信機あるいはパーソナルコンピュータを接続して数通信回線観を軽由して情報センターに蓄積スないる文字、図形等の画像情報をデータペースで検出し、送られてきた画像を見て応答することができるピデオテックスサービス等の公衆通信サービスが提供されており、夫々の利用者にはこれを必理するためにテレビ受信機用の端末器(アダプター)が必要になっている。

ことで使用されている雑末器は送受信用であり、 CPU(中央処理装置)、ROMとRAMの主記 憶部、通信期インタフェースと通信回線に連結し たモデム、キーボードあるいはキーパットインタ フェイス、セントロインタフェースとプリンタか ら構成されている。それと共に、上記端末器には